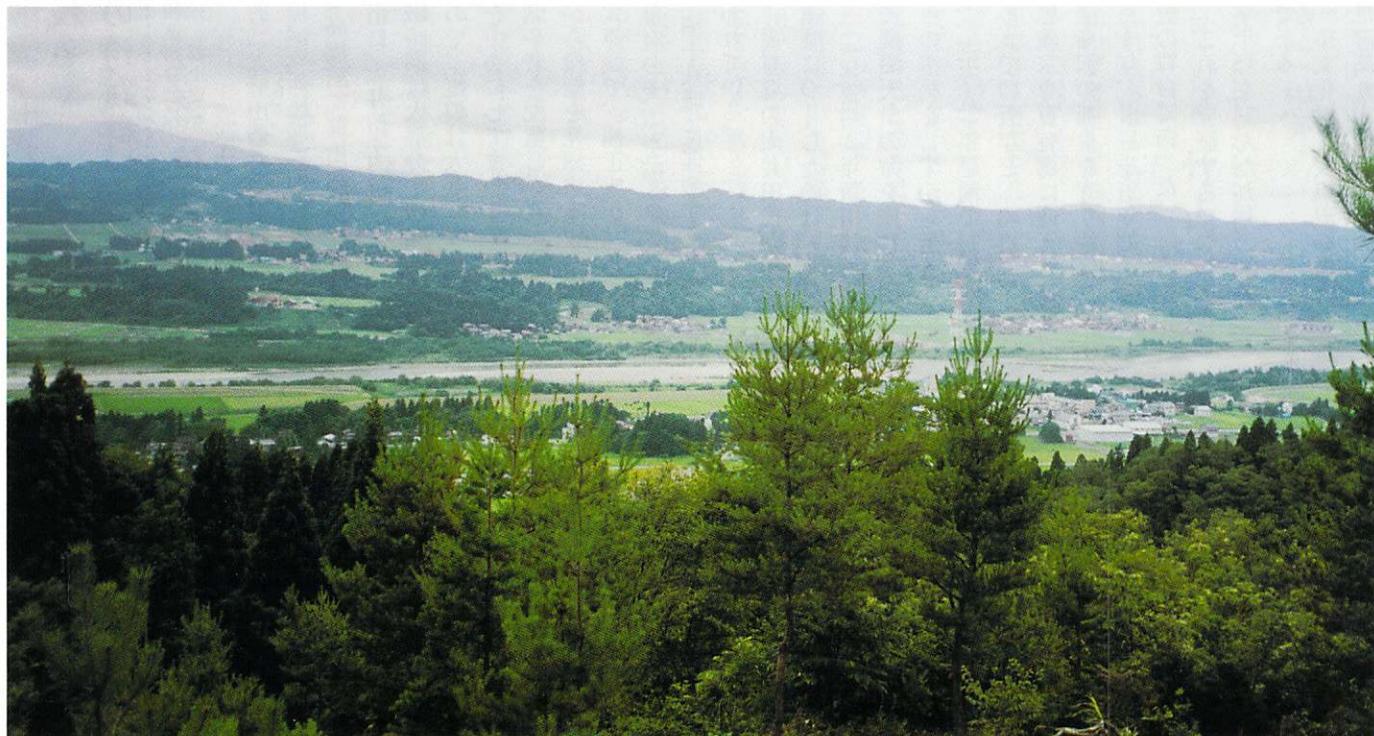


清風萬里



山頂に聳える清風萬里の碑

現会員数105名 発行日／2007年9月9日(年1回発行予定) 発行／全国大井田同族会事務局 デザイン・印刷／九峰出版



大井田城址より信濃川を望む

もつて、息災であります事を念じております。

平成三年、十日町との連携のもと、大井田氏同族会の結成があり、遠くは九州熊本、四国は宿毛市より全国から百余名の方々が駆せ参じて下さいました事に大きな亢奮と意義を感じました。

十日町の皆様に大歓迎を受けまして、大いに感激し、十日町への共通の郷里意識を持つ事が出来たのだと、当時を瞑想致しております。

遡りますと、私の父が鎌倉幕府討伐の挙兵六百年祭を、当時の同族の一部の方々及び十日町市民の有志の皆様と供養を行い、五年後の福山合戦六百年祭を福山山頂にて、同族及び地元の関係有志の方々と盛大に挙行されました。

私達も六五〇年祭を神宮寺様及び市長様を中心に市民の皆様まで広く参加を呼び掛けて盛大に挙行いたしました。大井田城跡山頂の記念樹の下に神宮寺竹内先生の『清風萬里大井田城』と題し、記念



全国大井田同族会 名誉会長

大井田 修

皆様お元気

碑を建立いたしました。その後、

にお過ごしで

ございましょ

うか。先ずを

ておりま

す。

平成八年に福山合戦没者の慰靈

祭を福山山頂において、地元の

方々も含め大供養祭を挙行しまし

た。山頂全域に溢れるほどの参加

者を頂きました。地元の方々は勿

論ですが、十日町の大井田の心を

心とし、大型バスで岡山県の福山

まで長遠距離を志を一つにし、同

郷的好誼で参加下さった事に、大

いなる感謝と感激を致しました。

私が初代の会長とし実感致しま

したことは二代目会長大井田瑩

様、現在三代目会長太江田祐孝様

及び、役員会において現在そして

未来へと同族会への発展の為に、現実の問題点を語つて参りました。継続への展望からルール確立等々問題はありますが、役員会も軌道に乗りましたので十年に一度の福山合戦の慰靈祭開催継続を参考に、この度同族会誌の発刊の運びとなりました。質疑応答等も積極的に活用し連携して少しづつ良い結論が出来てくるのではないかと思つております。会員の為の会報誌に期待し、同族会の更なる今後の継続、発展にご協力下さい。

